

LibERICA

温度調整付ケトル「リベリカ」0.8L

品番 PO-162



本製品は日本国内用に設計されておりますので、国外での使用はできません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

取扱説明書 保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

目次




安全上のご注意	1~3
使用上のお願い	3
各部の名称	4
ご使用準備	5
ご使用方法	6~7
お手入れ	8
故障かな?と思ったら	9
アフターサービスについて	10
仕様	10
保証書	裏表紙

※本書に記載されているイラストはイメージです。

安全上のご注意 ①

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
以下の警告マークを表示している事項はいずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。



※本体に貼られている警告シールは、ご使用の際の危険や注意を促すものですので、はがさずにご使用ください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が重傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容



図記号の例

 禁止 してはいけない内容	 指示 実行しなければならない内容
--	--

危険

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コネクタ部分に金属製クリップやヘアピンなどの異物を接触させない。 感電・ショート・発火の原因になります。 ●ガス火にかけたり、電気ヒータ・電磁調理器・電子レンジなどで使用しない。 火災・変形・故障の原因になります。 	
--	---	---

警告

 禁止	<p><電源プラグ・コードについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグ・コードを傷つけない、引っぱらない、無理に曲げない、ねじらない、束ねない、はさみ込まない、重いものをのせない、加工しない。 発熱・火災・感電の原因になります。 ●電源プラグやコードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 ショート・発火の原因になります。 ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。 感電・ショート・発火・けがの原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。 プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 ●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する。 他の機器と併用すると分岐コンセント部が発熱し、火災や故障の原因になります。 ●電源プラグをコンセントから抜くときは、「ON/OFF」ボタンが消灯していることを確認する。 ショート・発火の原因になります。

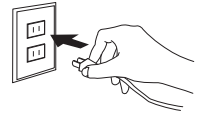
安全上のご注意 ②

警告



指示

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 使用中、電源プラグやコードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する。
- 子供が、本体・給電スタンドで遊ばないように注意する。



警告



禁止

<お取り扱いについて>

- 絶対に分解・修理・改造をしない。
発火・感電・けがの原因になります。
- 本体底部や給電スタンドに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない。
- 小さな子供だけで使用させない。また、乳幼児のそばで使用したり、手の届くところに置かない。
- 自分で操作できない人や、補助を必要とする人、取り扱いに不慣れな人だけで使用させない。
けが・やけど・感電の原因になります。
- 火やストーブなど熱源のそばや、直射日光のあたる場所で使用しない。
発熱・発火・故障などの原因になります。
- 風呂場などのぬれた場所・高温多湿になる場所での使用は絶対にしない。
感電・ショート・発火の原因になります。
- MAX目盛り以上の水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけど・感電のおそれがあります。
- 本体を抱きかかえたり、大きく傾けたり、転倒させたり、ゆすったりしない。
また、ハンドル以外を持って移動しない。
注ぎ口やそれ以外の場所からお湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。
- 不安定な場所や熱に弱いもの(ビニールマットなど)の上や可燃物(カーテンなど)の近くで使用しない。
本体が倒れてお湯がこぼれ、やけどをするおそれや、火災などの原因になります。
- フタを開けたまま湯沸かしをしない。
湯沸かし中、フタは確実に閉めてください。温度調整機能が正常に動かなくなったり、倒れたときに勢いよくお湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。
- フタを勢いよく開け閉めしない。
- 給電スタンドの上に本体をのせたままの状態の水を入れない。
- 注ぎ口をふきんなどでふさがない。
お湯が吹きこぼれたり飛び散ったりして、やけどをするおそれがあります。
- 湯沸かし中・湯沸かし直後はフタを開けたり、さし水をしない。
お湯が飛び散ったり、高温の蒸気が出てやけどをするおそれがあります。
- 湯沸かし中は移動させない。
お湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。
- 給電スタンドのコードに手や足が引っかかるような場所に設置しない。
コードが引っかれると、その勢いで本体が倒れてお湯がこぼれ、やけどをするおそれがあります。

安全上のご注意 ③

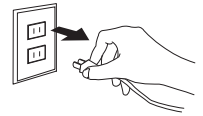
⚠ 注 意



指示

<電源プラグ・コードについて>

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って抜く。コードを引っばると破損して、感電・ショート・火災の原因になります。
- 使用後やお手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜く。けがややけど、絶縁劣化などによる感電・漏電火災の原因になります。



⚠ 注 意



禁止

<お取扱いについて>

- 湯沸かし中・保温中・湯沸かし直後は本体胴部・フタ・注ぎ口に触らない。やけどをするおそれがあります。
- 水以外のもの(お茶・牛乳・お酒・ティーバッグ・インスタント食品など)を入れて沸かさない。泡立って吹きこぼれ、やけどや故障・汚れの原因になります。
- 水またはお湯が入っていない状態で加熱しない。空だき防止機能が働き通電は切れますが、内部のスタンド部分が熱くなり、やけどや故障の原因になります。
- 専用の給電スタンド以外は使用しない。また、給電スタンドを他の機器に使用しない。故障・発火の原因になります。
- 壁や家具の近くで使用しない。蒸気や熱で壁や家具が変色、変形する原因になります。収納棚などで使用するときには、中に蒸気がこもらないようにしてください。
- 落としたりぶついたりなど強い衝撃を与えない。破損・故障・短寿命の原因になります。
- 湿気の多い場所、ペットが通る場所では使用しない。変形・故障・事故・火災などの原因になります。



指示

- 異臭・発熱・変形・変色など、今までと異なることに気がついたときはただちに使用を中止する。発煙・発火の原因になります。
- お手入れは使用直後をさげ、本体が冷めてから行う。やけどのおそれがあります。
- 破損した際は、けがをしないよう十分注意する。廃棄する際は、お住まいの自治体の指示に従い分別してください。

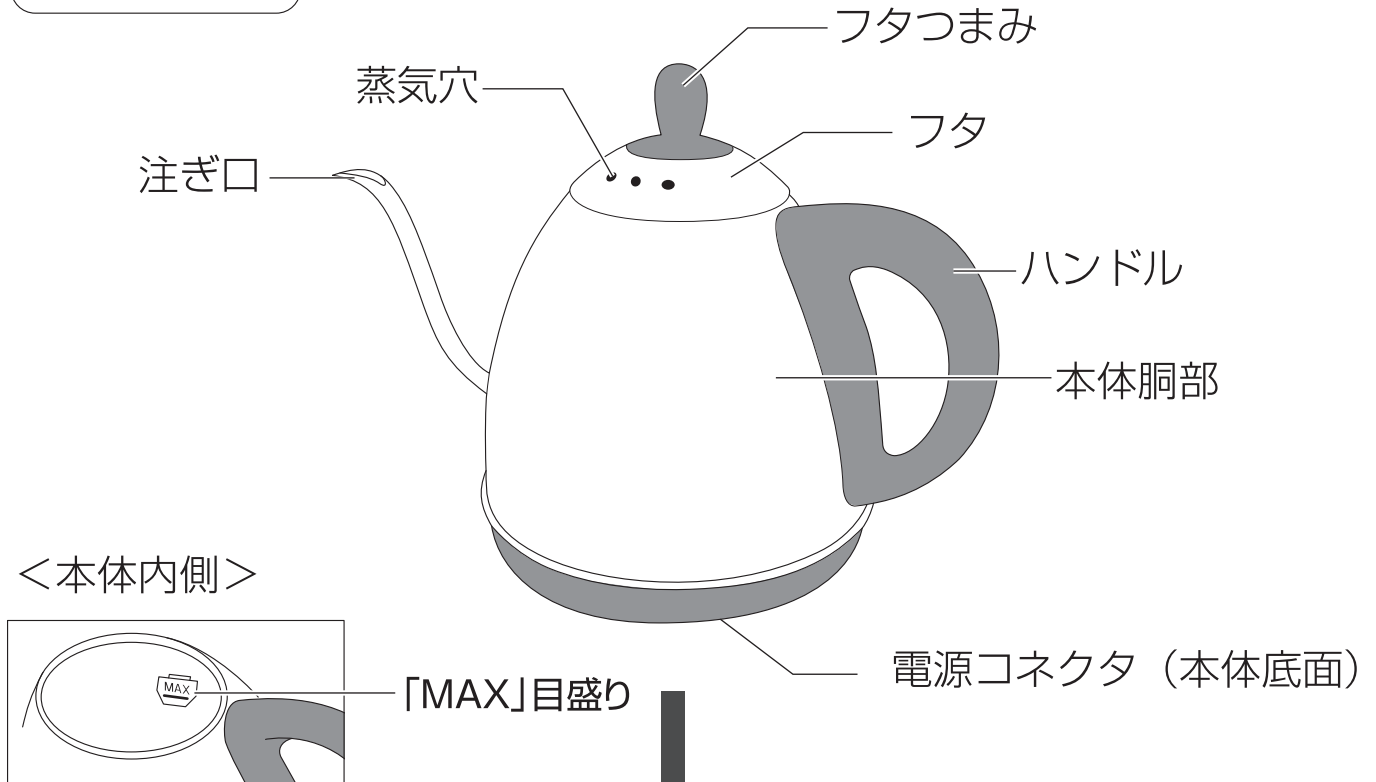
使用上のお願い

- 本製品は一般家庭用です。商用としてや、湯沸かし以外の目的には使用しないでください。
- 必ず屋内で使用してください。 ●日本国内のみで使用してください。
- 湯沸かし専用の電気ケトルです。電磁調理器や直火でのご使用はできません。
- 備長炭など、水質改善剤や浄化剤を入れて使用しないでください。

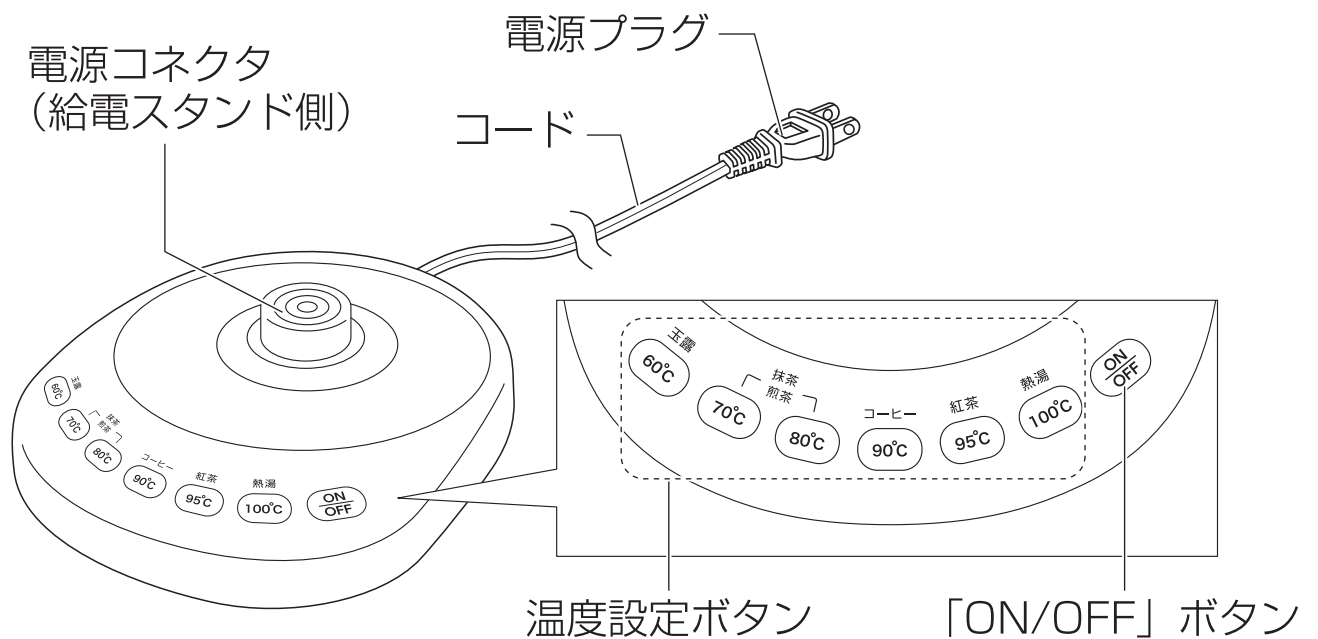
各部の名称

ご使用前にご確認ください。

本体



給電スタンド



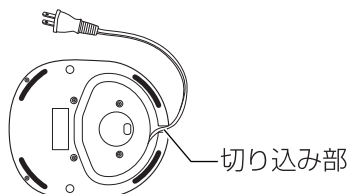
ご使用準備

■はじめて使用する際は、「お湯を沸かす①」（P6 参照）の要領で一度お湯を沸かし、そのお湯を捨ててからご使用ください。

※まれに、本体内側に水滴のあとがついていることがあります。これは検品で使用した水に含まれているミネラル成分によるものです。衛生上問題ありませんのでご安心ください。

1 コードをセットする

余分なコードを給電スタンドの底面に巻いて長さを調整し、切り込み部から外に出してください。

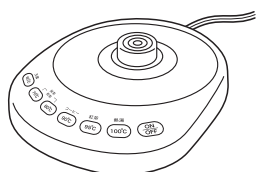


⚠ 注 意

- 切り込み部にコードをきちんとセットする。
給電スタンドがたついて不安定になり、本体が倒れ、お湯がこぼれてやけどをするおそれがあります。

2 給電スタンドを置く

清潔で平らな安定した場所に置いてください。

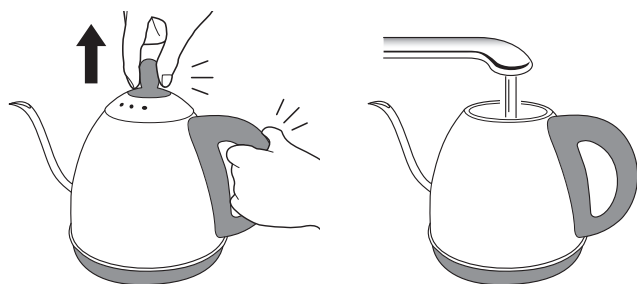


⚠ 注 意

- 水がかかる場所に置かない。
感電・ショート・発火などの原因になります。
- 不安定な場所や乳幼児の手が届く場所に置かない。
本体が倒れ、お湯がこぼれてやけどをするおそれがあります。

3 フタを開けて、本体に水を入れる

本体に必要な量の水を入れてください。
※300ml 以上の水またはお湯を入れてください。

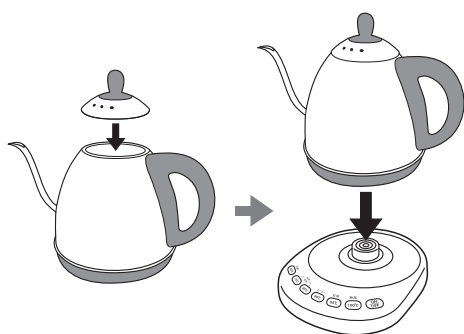


⚠ 注 意

- 「MAX」目盛り以上の水を入れない。
水を入れすぎると、ふきこぼれるおそれがあります。
- 必ず水またはお湯を入れて使用する。
水が少なすぎると、空だきになるおそれがあります。
- 給電スタンドの上に本体をセットしたままの状態
水を入れない。
故障や感電などの原因になります。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水などを使用すると、ミネラル成分が内側に付着しやすくなります。

4 フタを閉めて、本体を給電スタンドの上へセットする



⚠ 注 意

- フタの蒸気穴をハンドル側に向けない。
湯沸し中・湯沸し直後は熱い蒸気が出るため、やけどのおそれがあります。
- 電源コネクタ部に異物や水分が付着していないことを確認する。
感電・ショート・故障の原因になります。
- 注ぎ口を壁や家具などに向けない。
蒸気などにより、変色・変形の可能性があります。

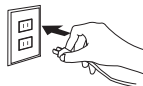
ご使用方法 ①

■お湯を沸かす①(かんたん湯沸かし)

沸騰するまでお湯を沸かします。湯沸かし後、保温はしません。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

「ピー」と音が鳴り、全ボタンが点灯した後、消灯します。



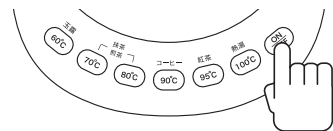
⚠ 注 意

- 電源プラグは奥までしっかり差し込む。
- 本体に水が入っていることを確認する。

2 電源を入れる

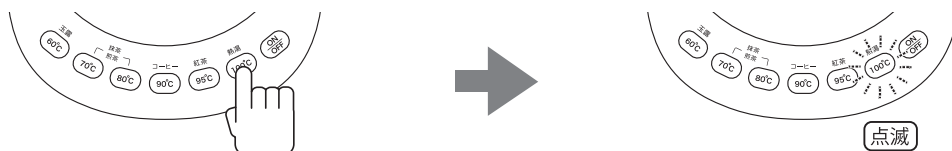
「ON/OFF」ボタンに触れると「ピッ」と音が鳴り、「ON/OFF」ボタンが点灯してスタンバイ状態になります。

※約1分間何も操作しないと、自動的に「ON/OFF」ボタンが消灯し、電源が切れます。(オートパワーオフ)



3 「100℃」ボタンに触れる

ピッと音が鳴って湯沸かしが開始され、湯沸かし中は「100℃」ボタンが点滅します。



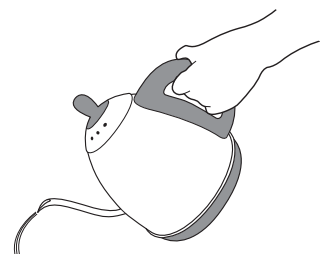
沸騰すると「ピーピーピー」と音が鳴り、「100℃」ボタンがゆっくりの点滅に変わります。そのまま約1分間操作しないと自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ)

※途中で湯沸かしを止める場合は、「ON/OFF」ボタンに触れて「100℃」ボタンを消灯させてください。(スタンバイ状態に戻ります。)

4 お湯を注ぐ

沸騰状態がおさまってから、ハンドルをしっかり持ち、注ぎ口側にゆっくり傾けてお湯を注ぎます。

※「ON/OFF」ボタンが点灯している間に本体を給電スタンドに戻すと、「ピッ」と音が鳴ります。

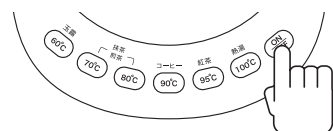


⚠ 注 意

- 勢いよく注がない。
- ハンドル以外に触らない。
やけどをするおそれがあります。

■残り湯は捨ててください。

本体内側の汚れやにおいの原因になりますので、使い残したお湯は捨ててください。

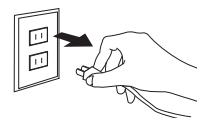


5 電源を切る

「ON/OFF」ボタンに触れると「ピッ」と音が鳴り、「ON/OFF」ボタンが消灯して電源が切れます。

6 電源プラグを抜く

ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ⚠ 注 意 ●電源プラグを持って抜いてください。

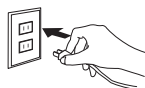
ご使用方法 ②

■お湯を沸かす②(温度を設定しての湯沸かし)

任意の設定温度で湯沸かしすることができます。湯沸かし後は15分間保温します。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

「ピー」と音が鳴り、全ボタンが点灯した後、消灯します。



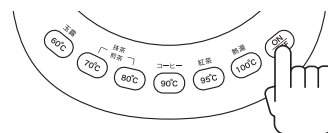
⚠ 注 意

- 電源プラグは奥までしっかり差し込む。
- 本体に水が入っていることを確認する。

2 電源を入れる

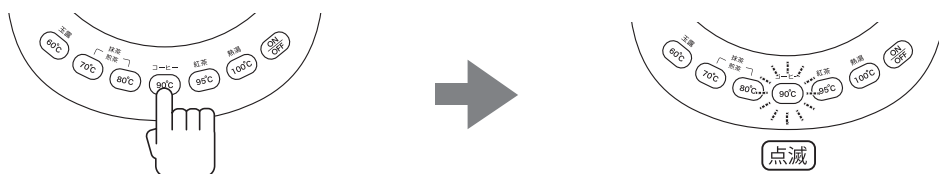
「ON/OFF」ボタンに触れると「ピッ」と音が鳴り、「ON/OFF」ボタンが点灯してスタンバイ状態になります。

※約1分間何も操作しないと、自動的に「ON/OFF」ボタンが消灯し、電源が切れます。(オートパワーオフ)



3 温度を設定する

温度設定ボタン(「60℃」「70℃」「80℃」「90℃」「95℃」)のうち、お好みのボタンに触れます。ボタンに触れると湯沸かしが開始され、選択した温度設定ボタンが点滅します。



設定した温度に達すると「ピーピーピー」と音が鳴り、ボタンが点灯に変わります。その後約15分間保温され、保温中は「ON/OFF」ボタンと選択した温度設定ボタンが点灯しています。

※保温時間が終了すると選択した温度設定ボタンがゆっくりの点滅に変わります。そのまま約1分間操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。

※保温中に選択した温度設定ボタンを再度押し、押した時からさらに保温時間を約15分間延長できます。

※湯沸かし中、保温中に温度設定ボタンを押すと、設定温度を変更できます。現在の温度よりも低い温度を設定した場合には、設定温度まで下がった後に約15分間保温します。

※保温を解除する場合は、「ON/OFF」ボタンに触れて温度設定ボタンを消灯させてください。

4 お湯を注ぐ

沸騰状態がおさまってから、ハンドルをしっかり持ち、注ぎ口側にゆっくり傾けてお湯を注ぎます。

※保温中にお湯を注ぐなどで本体を給電スタンドからはずすと、保温は解除されスタンバイ状態に戻ります。

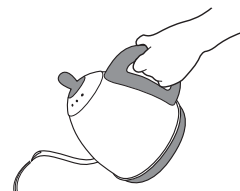
※「ON/OFF」ボタンが点灯している間に本体を給電スタンドに戻すと、「ピッ」と音が鳴ります。

⚠ 注 意

- 勢いよく注がない。
- ハンドル以外に触らない。やけどをするおそれがあります。

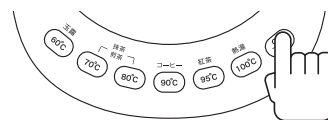
■残り湯は捨ててください。

本体内側の汚れやにおいの原因になりますので、使い残したお湯は捨ててください。



5 電源を切る

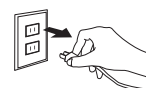
「ON/OFF」ボタンに触れると「ピッ」と音が鳴り、「ON/OFF」ボタンが消灯して電源が切れます。



6 電源プラグを抜く

ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意 ●電源プラグを持って抜いてください。



お手入れ

⚠ 注 意

- 必ずコンセントから電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。
- シンナー、ベンジン、みがき粉、漂白剤、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しない。
- 本体・給電スタンドは丸洗いをしない。また、食器洗浄機や食器乾燥機を使用しない。
- 本体内側を水洗いしたときは乾いた布などで拭き取り、よく乾燥させる。また、ドライヤーなどの熱風で乾かさない。

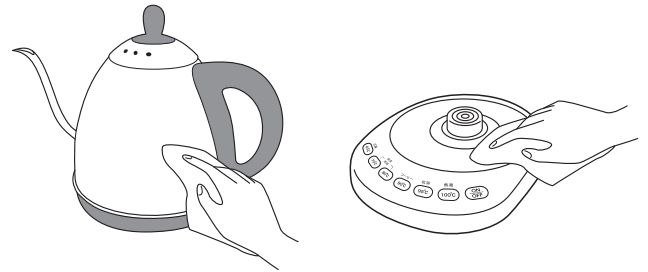
本体外側・給電スタンド

掃除目安：ご使用毎

1 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取る。

汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。

2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させる。



本体内側

掃除目安：ご使用毎

1 水でよくすすぎ、内側を乾燥させる

本体内側の汚れ（白い浮遊物、赤や白の斑点状のもの、虹色の変色など）は、水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛生上問題はありますが、汚れが目立ってきたら定期的の下記のクエン酸での洗浄を実施してください。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、こまめにお手入れをしてください。

クエン酸洗浄方法

掃除目安：3ヶ月に1回 または汚れが目立ってきたとき

1 水をMAXの目盛りまで入れ、その中にクエン酸を30g程度入れてかき混ぜる

2 フタを閉めて沸騰させ、電源が切れてから約1時間放置する

3 お湯を捨て、水でよくすすぐ。汚れが残っている場合にはやわらかいスポンジ等で拭き取ってからよくすすぐ

クエン酸のにおいが気になる場合は、再度水だけを入れて沸騰させ、お湯を捨ててください。

4 内側をよく乾燥させる。

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	対策
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	電源プラグを根元まで確実に差し込んでください
コンセントに差し込んでもスタンバイ状態にならない	コンセントに差し込んだだけではスタンバイ状態になりません。「ON/OFF」ボタンに触れてスタンバイ状態にしてください	
保温できない	温度設定ボタンに触れていない	保温したい場合は、「60℃」「70℃」「80℃」「90℃」「95℃」ボタンのいずれかに触れて温度を設定してください
勝手に加熱している	保温中になっている	「ON/OFF」ボタンに触れて保温を解除してください
沸かしたお湯が設定より低い	フタが開いている	フタを確実に閉めてください
沸かしたお湯が設定より高い	水の量が少なかった	水の量は 300ml 以上を入れてください
設定した温度にならない	測温方式によるばらつきやご使用環境などにより、設定した温度と実際の温度に誤差が生じることがあります	
お湯があふれる ふき出す	MAX 目盛り以上の水を入れて湯沸かしをした	水の量を MAX 目盛り以下に減らしてください
	水以外のものを入れた	水以外のものを入れて沸かさないでください
沸かしたお湯がにおう	水道水に含まれる塩素の量によりカルキ臭が残ることがあります お茶などをおいしくいただくときは、浄水を使用されることをお勧めします	
	使いはじめのうちはにおいがすることがありますが、ご使用されているうちににおいは少なくなります	
「60℃」ボタンと 「70℃」ボタンが点滅	温度検知エラー	本体に水を入れ直して再度電源を入れてください→改善されない場合は販売店に修理を依頼してください
「80℃」ボタンと 「90℃」ボタンが点滅	電氣的異常による故障	販売店に修理を依頼してください
「95℃」ボタンと 「100℃」ボタンが点滅	空だきをした	水を入れて加熱してください→改善されない場合は販売店に修理を依頼してください

※高地や寒冷地では一定の温度性能を確保できない場合があります。

長年ご使用いただいている電気製品の点検について

定期的に「安全上のご注意」、「ご使用方法」を確認してください。
誤った使い方、長年のご使用による影響で製品が劣化し、故障や事故につながる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険ですので、絶対にしないでください。

アフターサービスについて

修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認の上内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

- 保証期間中でも有料となる場合がありますので、＜保証規定＞をよくお読みください。
- 当社修理技術者以外の方が分解・修理した場合は、保証対象外となります。

2. 修理を依頼される時

「故障かな？と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。

- 保証期間中は、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証書の記載内容にそって修理いたします。
なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または、下記「株式会社ドリテック お客様相談センター」までお問い合わせください。

輸入販売元 株式会社 ドリテック

お客様相談センター

☎ 0120-875-019

(受付時間：月～金9：00～12：00、13：00～17：00
祝祭日および当社指定休日を除く)

お客様サポート



仕様

品番	PO-162	品名	温度調整付ケトル「リベリカ」0.8L
電源	AC100V 50/60Hz	定格消費電力	1000W
最大容量	0.8L	電源コード長	約 120cm
寸法	約幅 27.0×奥行 20.0×高さ 21.0 cm (給電スタンド含む)		
質量	本体のみ：約 0.7 kg 給電スタンド含む：約 1.2 kg		
材質	本体：ステンレス・ポリプロピレン 給電スタンド：ポリプロピレン・ステンレス		
設定温度	60/70/80/90/95℃(保温 15分あり) 100℃(保温なし)		

※製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店へご相談ください。

品番	PO-162		
保証期間	お買い上げ日より	1年間	持込修理
	※本体・給電スタンド		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前 ご住所 お電話		
販売店*	販売店名 ご住所 お電話		

販売店様：*欄は必ず記入してお渡しく下さい。

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合には本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等や異常電圧などの外部要因等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本書のご提示がない場合。
 - ※一般家庭以外（例として、商用など）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

修理メモ

--

輸入販売元 株式会社ドリテック 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地 2-3-9

お客様相談センター



0120-875-019 URL : <https://www.dretec.co.jp>

(受付時間：月～金 9：00～12：00, 13：00～17：00 祝祭日および当社指定休日を除く)